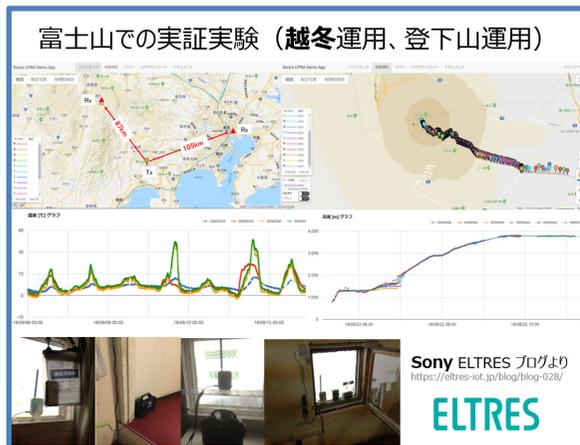


「情報通信セミナー2021」をオンラインで開催

東海総合通信局(局長 長塩 義樹)は、令和3年5月27日(木)、東海情報通信懇談会(会長 岩田 彰名古屋工業大学名誉教授)及び東海地域デジタル化推進フォーラムとの共催により、「デジタル変革がもたらす『社会』と『地域』の新時代」をテーマに「情報通信セミナー2021」をオンラインで開催し、自治体、民間企業から116名が参加しました。

基調講演では、静岡県立大学 グローバル地域センター 特任准教授 鴨川 仁氏から、「富士山頂で未来の通信研究」と題して、富士山におけるELTRESの実証実験等の事例紹介で、LPWA通信が高品質な地球科学計測の重要なツールとなるとご講演いただきました。講演は、広島県 総務局総括官(デジタルトランスフォーメーション戦略) 向井 ちほみ氏から、「広島県におけるDXの取組」と題して、DX推進コミュニティなどを利用してDX理解の醸成などを積極的に実施している広島県の取組事例をご紹介いただきました。続いて、NTT西日本 技術革新部 R&Dセンタ所長 池田 智氏から、「Beyond 5G / IOWNを見据えたスマート社会の実現」と題してご講演いただきました。最後に、中部電力株式会社 事業創造本部インフラ活用事業推進ユニット長 鬼頭 大介氏から「電力スマートメータ無線通信網を応用したICT活用事例」と題して、スマートメータのデータを活用した内水氾濫対策等についてご紹介いただきました。



～デジタル変革がもたらす「社会」と「地域」の新時代～	
基調講演 『富士山頂で未来の通信研究』 静岡県立大学 グローバル地域センター 特任准教授 鴨川 仁	講演 1 『広島県のDXの取組』 広島県 総務局総括官 デジタルトランスフォーメーション戦略 向井 ちほみ
講演 3 『電力スマートメータ無線通信網を応用したICT活用事例』 中部電力株式会社 事業創造本部 インフラ活用事業推進ユニット長 鬼頭 大介	Crosstalk コーディネーター 株式会社クエスト 執行役員 中部支社長 国立研究開発法人 NICT イノベーションコーディネーター 畠中 幸一

クロストークでは「デジタル変革がもたらす『社会』と『地域』の新時代」をテーマに、株式会社クエストの畠中 幸一氏をコーディネーターとして、ICT利用の基盤となる技術動向を踏まえ、パネリストのみなさまが産学官の立場から地域課題の解決や地域経済の活性化に向け、自治体DXの推進などの取組や今後の展望についてご発言いただきました。鴨川氏からは、駿河湾の津波ブイの通信事例のELTRESやスマートメータ無線通信網のように得意・不得意がハッキリした通信の今後の進むべき方向性や可能性などについて、向井氏からは、自治体DXの今後の取組についてご発言いただきました。鬼頭氏からは、民間企業の視点からDXに取り組む際の考え方や取り組み方として、得意・不得意がハッキリした通信でもそれぞれ「まず使ってみる」こと、そして「フィードバックする」こと、さらに「よりよいものにしていく」ことが大切との発言がありました。最後に畠中氏から「デジタル化は、私たちの社会と地域に素晴らしい未来をもたらすものになると確信した」とまとめていただきました。